

ブラジル音楽祭inKOBÉ

Festival de Música Brasileira em Kobe

今年には神戸市・リオデジャネイロ市姉妹都市提携50周年。これを記念して音楽の都・リオデジャネイロから招いた4人のミュージシャンに、日本のトッププレイヤーが共演して繰り広げる日伯文化交流イベント「ブラジル音楽祭inKOBÉ」を開催します。

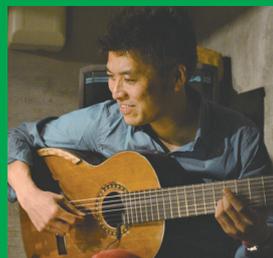
2019年10月6日(日)開演13時30分(開場12時30分)終演予定16時

会場 神戸文化ホール 中ホール

入場無料

要事前申込

申込受付開始は9月9日(月)より先着順



TRIOCA



田中雅子=MAKO(ヴォーカル) だいどうじさかえ(カヴァキーニョ) 尾花毅(7弦ギター)
MAKO(ヴォーカル)率いる「TriOca-トリオカ」は、ブラジルの弦楽器カヴァキーニョを演奏するだいどうじさかえと7弦ギター奏者の尾花 毅をメンバーにしたグループです。

トリオ(Trio)+ オカ(Oca)ブラジル先住民の言葉で意味は"お家"=ファミリー感溢れる暖かいサウンド、ショーロテイストのブラジリアンミュージックをお家にいるような感覚でお届けするトリオ。リオの風を運ぶ熱い歌声とカヴァキーニョが刻む軽快なリズム、そして唸るようなグルーブを生み出す7弦ギターで、歌うショーロから、ボサノヴァの弾き語りとして著名なジョアン・ジルベルトやナラ・レオンたちが歌いヒットを飛ばした数多くのサンバの名曲、セルジオ・メンデスそして現代サンバまで、さまざまなナンバーをレパートリーにしています。

熊本尚美トリオ



神戸出身のフルーティスト熊本尚美を中心に、リオデジャネイロ在住のミュージシャンでこの日のために特別結成されたトリオです。

リオで生まれた全てのブラジル音楽の源流であるショーロをはじめ、サンバやそれぞれの作曲まで幅広いレパートリーでリオの最新サウンドを聞かせてくれます。ショーロに恋い焦がれて神戸からリオへと移住した熊本尚美、ブラジルを代表するピアニストの1人で、アレンジャーとしても大活躍のレアンドロ・ブラーガ、神戸姉妹都市提携35周年(2004年)の際にも神戸ブラジル音楽フェスティバル参加のため来神した、伝統的ショーロ・サンバファミリーの血を引き継ぐセウシーニョ・シウヴァが、音楽を通じて「神戸ーリオ」そして「日本ーブラジル」の日伯文化交流をめざします。

ブラジルの踊り出したいくなるような軽快なリズムや、心に寄り添うように触れる美しいメロディをお届けします。



主催 ● 一般財団法人 日伯協会、神戸市
協力 ● UCC ホールディングス株式会社
後援 ● 公益財団法人 神戸市民文化振興財団、神戸文化マザーポートクラブ
申込・問合せ先 ● 神戸市イベント案内・申込センター



(TEL 078-333-3372)
9:00~21:00 年中無休

申込受付開始は9月9日(月)より先着順

URL <https://kobecity-official-event.jp/form/660>

神戸市営地下鉄「大倉山駅」下車すぐ
JR「神戸駅」北へ徒歩10分
阪急・阪神・山陽「高速神戸駅」北へ8分

〒650-0017 神戸市中央区楠町4-2-2 TEL:078-351-3535